

この冬、全国的に感染性胃腸炎が流行しています。本学でも、先週くらいから発症（疑い）する学生が出ています。

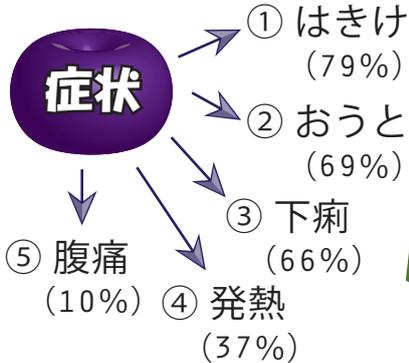
早めの受診と療養を!!

その症状 **感染性胃腸炎** では?

感染性胃腸炎（流行性嘔吐下痢症）は、ウイルスなどが原因となって発症する胃腸炎の総称です。

感染性の胃腸炎であれば二次感染する可能性があるため、疑わしい症状があったら無理に通学せず、早めに内科を受診し、自宅で療養してください。

出席停止期間 医師の診断による（嘔吐や下痢が治まるまで）



公欠の手続きには治療したという証明書が必要です

本学 HP から (TOP > 学生生活 > 医務室 > 感染症について)

「**学校感染症治療証明書**」をダウンロードしてからの受診を!

http://www.onomichi-u.ac.jp/campus_life/medical_office/kansen.html?node_id=557

感染経路を知って予防しよう

A 経口感染 (大部分)



- ① 感染した人の糞便や嘔吐物から人の手を介して
- ② 感染した調理者から汚染した食品を食べて
- ③ 汚染されていた二枚貝を生あるいは不十分な加熱調理のものを食べて
- ④ ウイルスに汚染された井戸水や消毒が不十分な簡易水道からの飲水で

B 飛沫感染

- ⑤ 感染者の咳やくしゃみによって、ウイルスを含んだ唾液が飛散し、他の人の粘膜に付着することで
- ⑥ ウイルスを含んだ嘔吐物の乾燥によってウイルスが空気中に拡散して

- 周りへの2次感染を防ぐため **手洗いとうがい!**
- 飛沫感染を防止するため **マスクも有効的!**
- 治療は対症療法 **整腸剤や電解質補給(点滴)!**

注意1

症状がなくなった後でも2週間くらいは排泄物の中にウイルスがいます。排泄後の手洗い、嘔吐物の処理の際には、ビニール手袋などを使い、直接触れないよう気をつけましょう。



注意2

ノロウイルスにはアルコール消毒は無効なので、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）を用いた除菌が必要です。（石鹸も無効です）
※ 手洗い（石鹸）は消毒にはなりません、手の脂肪等の汚れを落とすことにより、ウイルスを手指から剥がれやすくする効果があります。

注意3

下痢や嘔吐がひどいとき、食事がとれないときには脱水症状を起こしやすいので、水分補給を心がけてください。（下痢のときは特に）

① **流行前のワクチン接種** ワクチン接種による効果が出現するまでに2週間程度かかります。

② **行動毎の手洗い・うがい** 手洗いは手指に付着したウイルスを物理的に除去するのに、うがいはのどの乾燥を防ぐのに有効です。

③ **アルコール消毒** **アルコール消毒はインフルエンザウイルスに有効です。** アルコールが乾いた時に殺菌効果を発揮するので、清潔なタオルで手を拭いた後、手洗いができない時など、手が乾いた状態で使用します。

④ **適度な湿度の保持** **ウイルスを活性化させない最適室内環境** **湿度** 50 ~ 60% **温度** 20 ~ 24°C

⑤ **十分な休養とバランスのとれた栄養摂取** 睡眠不足、ストレス過多、栄養のかたよりによって免疫力が低下した状態では、感染しやすくなります。

⑥ **体調不良、流行時には不必要な外出は控える**

咳エチケット



を忘れずに